発行人/近藤 好弘 令和5年11月15日号





CONTENTS

- ② 新規検定済種雄牛の紹介(乳)
- ③ 新規ヤングサイアの紹介/ 新規検定済種雄牛の紹介(肉)
- 4 放牧推奨種雄牛について
- ✓ ET講習会合格者発表/新人紹介
- ⑧ 第18回 北海道総合畜産共進会
- ⑩ 現場レポート 剣淵町 株式会社オールダーランド
- 12 第20回ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会
- 14 小岩先生コラム 出血性腸症候群 (HBS)
- 16 GH家畜改良顕彰 (ホルスタイン種・黒毛和種) 受賞者紹介





新規検定済種雄牛(ホルスタイン種)の紹介

詳細はコチラ▶



JP3H58868

デイベロツプ 🕕

FFFFFF



耐久性成分 +396







◆ 個体識別番号: 15088-9077-3 ◆ 平成30年6月1日生

- ◆ 繁殖者:アメリカ セレクト サイアーズ
- ◆ 生産者: 北海道 株式会社 稲川牧場

- る モーニングビュー MCC キングボーイ ET 🚱 WCD-ZBW マツク ダデイ ET
- 🚱 フライハイアー ジエデイ ハブノツト ET VG-86 ♂ S-S-I モントロス ジエダイ ET
 - 😜 クッキーカッター マーシー ハッシェズ ET VG-85 ♂ コープ ボスサイド マツセイ ET

+111.090円 疾病繁殖成分



- 全きょうだいは史上最高額の約2.5億円で取引き された"S-S-I ドツク ハブ ノツト 8784 ET"EX-96
- 乳用強健性・決定得点ともに No.2 の好体型と高能力で牛群のレベルアップに最適!



GET-K ハブ フアム 清水町/橋本 和博 氏 所有 母の父/HEF ジヤステイス ネオ ET

JP3H58843

-ク アチーバ FFFFFF

🕢 ABS アチーバー ET

🕝 ウツドクレスト モーグル ヨダー ET 🚱 コンパスTRT AMRC AE J925 ET

♀ クリーク ドアマン プラネット GP-82

るマウントフィールド SSI DCY モーグル ET

富んだ形状の良い乳器が特徴

+89,231_円 +72,444₽

産乳成分 +1.910 耐久性成分 +460



ブツクシールド コスモ プリズムドア 別海町/本荘 義規 氏 所有 母の父/JC カクテル バンビーナ



▲ 平成30年4日21日生

本牛

◆ 生産者: 北海道 片岡 康太郎 氏

JP3H5892

ヘイチヤン ルーター OSE



体型と能力を兼ね備える"ラルマ ジュラー フエイス"ファミリー

優れた長命連産効果と在群能力で経営に貢献! 胸幅があり中型サイズで管理しやすい体型と乳用性に

🔐 シーマーズ エスサイアー ロザン ET

🚱 ウエルカム オールタイム ポリー ET VG-87

♂シーマーズ モーグル ペテイ-

ET FFFFFF

GNTP

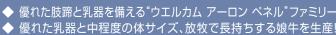
+89,854₽

産乳成分 +1,842 耐久性成分 +348

+113,309円 疾病繁殖成分 +52



ウエルカム ペテイ ポツロ ポリー祖母牛



乳成分オールプラス!高い乳脂肪改良効果と低い体細胞 スコアで乳質改善に貢献!

JP3H58993

◆ 生産者: 北海道 合同会社 伊深ファーム

JC サルサ

る ミスター サルバトール アールシー ET

♂ コジエント スーパーショット ♀ スノービズ シンパテイコ ソフイア RED ET

☆ KCCK デルタ アンジー ET

るミスター モーグル デルタ 1427 ET♀ エムアイエス アドレン アスタロイド 2002 ET VG-87

む・シーガルベイ スーパーサイアー ET

FFFFFF GNTP

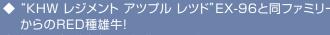
+80.069

□

ET

耐久性成分 +320 疾病繁殖成分 -22

+87,574ฅ



優れた在群能力で、牛群で長く活躍!

乳成分オールプラスと低い体細胞スコアで乳質改善に貢献!







GNTP No.





BS パリス フエルナンド コーラル 釧路市/株式会社 大坂ファーム F 母の父/ビーク アルタモレノ ET



◆ 個体識別番号: 14045-2010-1 ◆ 平成30年6月5日生

◆ 繁殖者: アメリカ ウェルカム ストック ファーム IIC ウィリアム ベック

◆ 個体識別番号: 14267-1721-3 ◆ 平成30年7月28日生

- ◆ 繁殖者: アメリカ KCCK ホルスタインズ
- ◆ 生産者: 北海道 株式会社 J·C



新規ヤングサイアの紹介

詳細はコチラ▶



JP3H61137

プレステージ

FFFFFCF





- - 🕣 プロジエニシス ギネス ET
 - 🙆 ボーマツズ マデイー ET
 - ♀ マイダスタッチ ハーモニー ET GP-80

 - ♂S-S-I PR レネゲード ET♀マイダスタッチ ハロルド 824 VG-85 🕝 アオツト ハロルド

+113,844_B

+136,242円 疾病繁殖成分





マイダスタツチ ハロルド 824

◆ 個体識別番号: 13843-2325-9 ◆ 令和3年10月26日生

- ◆ 繁殖者: アメリカ オーロラ リッジ デイリー ◆ 生産者: 北海道 久保 義則 氏

本牛

- レイシエン×レネゲード×ハロルドという異色の血統構成
- 付着の強い乳器が特徴の"マークウエル ビースター イー レイブン"EX-95ファミリ
- 全国トップクラスの産乳成分でヤングサイアにおけるGNTP全国No.1!
- 肢蹄改良効果はヤングサイア No.6! 乳器改良にも優れ体型改良に最適

JP3H6122

プレインヒル アロツゾ 🎇 🗖

FFFFFF

👩 S-S-I PR レネゲード ET

🧿 シーマーズ LGND エスロズ 27083 ET

コツパーエツジ エイサク メロデイ ET VG-86

ABS メドレー ET

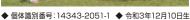
+119,090_P

+152,337₽





コツパーエツジ エイサク メロデイ ET



- ◆ 繁殖者:アメリカ デュアン ハーシ
- ◆ 生産者:北海道 大迫 誠一 氏
- 中型サイズで高い長命連産効果と耐久性のある体型に加え、良好な乳頭配置が特徴 好繁殖と乳成分オールプラスでトータルバランスに優れた改良効果を発揮

マークウエル ビースター イー レイブン"EX-95ファミリ

母系は12代連続EX·VGを獲得している好体型

新規検定済種雄牛(黒毛和種)の紹介

詳細はコチラ▶

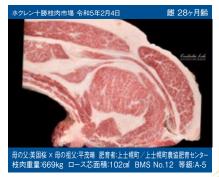




- ■個体識別番号:13713-4677-3
- ■平成30年4月10日生
- ■黒原6266 84.7点
- ■生産:北海道新ひだか町 畑端 博志 氏
- ■血統:勝早桜5 × 北乃大福 × 百合茂

- 母「きい」は、脂肪交雑119位(H28年6月北海道育種価)、3産目の雌肥育でA-5、枝肉重量519kg、ロース芯 面積83cm、BMS No.12を記録。祖母「ゆりこ」も脂肪交雑100位(平成28年6月北海道育種価)。
- 発育良く、前躯幅、肋張りが充実しており、後躯の優れた気高系種雄牛。
- 父「勝早桜 5」同様、系統を問わず優れた成績を示し、ロース芯は大きく、形状良く、バラの厚い枝肉が生産。
- 産子は発育が良く、体積に富み、資質、骨じまりに優れる。

■北	■北海道育種価 25頭													
	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cril)	バラの厚さ(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	脂肪交雑基準値	新細かさ指数	(σ値)						
育種価	100.699	31.565	2.332	-0.623	5.060	4.092	1.70	Н						
正確度	0.92	0.91	0.90	0.92	0.92	0.92	オレイン酸(σ値)						
指標	Н	Н	Н	В	Н	Н	0.17	В						





放設館質園畑等尼ついて

2023年8月より当団ブルブックやホームページ内の種雄牛情報にて、放牧にオススメの種雄牛に「放牧推奨」アイコンを表示しています。このアイコンは帯広畜産大学 萩谷研究室との共同研究により完成しました。

なぜこの体型形質が条件として設定されているのか、なぜこの範囲なのか、疑問に思っている方もいらっしゃるのではないでしょうか?このアイコンが完成するまでの経緯を萩谷先生より解説いただきます。

#広畜産大学 生命・食料科学研究部門 准教授 **萩谷 功一**

1993年 帯広畜産大学 家畜生産科学科 卒業

株式会社十勝家畜人工授精所

1998年 带広畜産大学大学院 畜産学研究科家畜管理学専攻 修士課程修了

2001年 岩手大学連合大学院 連合農学研究科生物生産学専攻 博士後期課程修了

日本ホルスタイン登録協会北海道支局 2004年 独立行政法人家畜改良センター

2011年 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 主任研究員

2015年 現職

2023年8月評価より、ジェネティクス北海道の乳用種雄牛パンフレットに「放牧推奨」アイコンが導入されました。当研究室では過去数年にわたり、タイストール、フリーストール、放牧主体の各飼養形態に適する乳用牛の特徴の把握、ならびにそのような雌牛を生産するための改良方法について研究を続けてきました。ここでは、種雄牛選択において、放牧に適する乳用牛へと改良する効果が見込まれる種雄牛である「放牧推奨種雄牛」を判別するための「放牧推奨」アイコンについて解説します。





放牧推奨 アイコン

はじめに

1989年に種雄牛の遺伝的能力評価値が発表されて以降、当初から改良対象とされてきた泌乳能力に加え、多くの体型形質、管理形質、長命性形質、繁殖あるいは健全性に関わる形質など、乳用牛の改良に必要とされるさまざまな遺伝評価値が公表されてきました。これらの多くは、国内の平均的な飼養環境を想定してプラスあるいはマイナスの記号とともに表示されています。実際のところ、国内の施設の多くはタイストールまたはフリーストール(フリーバーンを含む)であるため、それらの飼養形態を想定した数値です。

しかし、それぞれの飼養形態に適する雌牛の特徴(能力、体型など)がいくぶん違う可能性があります。そこで、農研機構北海道農業研究センター、北海道酪農検定検査協会、日本ホルスタイン登録協会との共同研究により、飼養形態(タイストール、フリーストール、放牧主体)に適する乳牛に関する調査が実施されました。その結果、タイストールとフリーストールに適する乳牛が似ている一方、放牧主体の飼養形態に適する乳牛の特徴がいくぶん異なることが明らかになりました。

それらの研究結果を踏まえ、放牧主体の環境に適する雌牛へと効果的に改良できる種雄牛を明示するため、ジェネティクス北海道と 帯広畜産大学の共同研究により、放牧環境で推奨できる種雄牛を明らかにし、放牧に適した種雄牛を判別するための「放牧推奨」アイコンを開発しました。

「放牧推奨」アイコンの開発に至る手順

各飼養形態に適する雌牛の遺伝的な特徴を把握するため、それぞれの環境において長生きする(在群期間が長い)雌牛がその飼養形態に適する雌牛である、と考えて分析を進めました。各飼養形態に適する雌牛の特徴を把握するところから「放牧推奨」アイコン開発に至るまで、以下の4つの段階を経る必要がありました。

- ①各飼養形態における各形質の遺伝的に改良すべき方向の調査
- ②各飼養形態における適切な体型得率または線形スコアに関する調査
- ③適切な体型得率またはスコアへと改良できる種雄牛に関する調査
- ④「放牧推奨」アイコンの開発と検証

ここで、①は遺伝相関と呼ばれる数値にもとづいて飼養形態別に 各形質の適切な改良方向を、②は飼養形態別に最適な体型得率または線形スコアを、③は各飼養形態に適する雌牛を生産できる種雄牛の遺伝的な特徴を把握することを目的としています。④はそれらを踏まえて放牧環境に適する種雄牛を選択するための基準の開発と検証です。

1.各形質の改良すべき方向

分析では、2012年に北海道酪農検定検査協会が実施したアンケート調査にもとづいて飼養形態を区分し、1993年から2008年の間に初産分娩した北海道内の雌牛について、タイストール約89千、フリーストール約126千、放牧主体約4千頭を調査対象としました。これらの雌牛について、初産分娩した個体数を100%としたとき、72ヵ月齢の雌牛の在群割合に注目すると、フリーストール(43%)、タイストール(50%)、放牧主体(59%)でした(表1)。

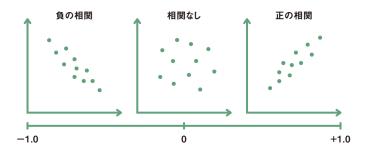
表1:飼養形態別の在群割合(%)

月齢	タイストール	フリーストール	放牧主体
48	84	80	87
60	67	62	73
72	50	43	59



このことより、放牧主体でもっとも在群割合が高く、72ヵ月齢時 における放牧主体とフリーストール間の在群割合が16%違うことが わかります。在群割合の違いは、各飼養形態において雌牛が受ける ストレスの違いの他に、飼養頭数の制限など、各酪農家における淘 汰基準の違いが影響したと考えられます。

遺伝相関とは2つの形質間の遺伝的な関係を-1.0から+1.0の 数値で表現したものであり、ゼロに近いと関係が小さく、-1.0また は+1.0に近いほど関係が大きいことを表します。



これまでの調査から、飼養形態を区分しない場合、一般に在群期 間との遺伝的関係は、乳量がゼロまたはややマイナス、体細胞数と 胸の幅がマイナス(低いと在群期間が長い)、乳房の深さがプラス (浅いと在群期間が長い)であることが明らかにされています。各飼 養形態における在群期間の長さと泌乳・体型各形質間の遺伝相関 に注目すると、今回の調査でも飼養形態に関わらず体細胞数が低い 個体、肢蹄の良い個体、胸の幅が狭い・肋の構造(鋭角性)が欠く個 体、乳房の浅い個体ほど在群期間が長いことがわかりました(表2)。 一方、乳量、胸の幅、乳房の懸垂について、放牧主体は他の飼養形 態と異なる傾向を示しました。

表2:在群期間と各形質間の遺伝相関(Nakahoriら 2017)

形 質	タイストール	フリーストール	放牧主体
乳量	-0.03	-0.19	0.16
体細胞スコア	-0.24	-0.24	-0.28
肢蹄	0.35	0.30	0.31
胸の幅	-0.31	-0.41	0.13
肋の構造(鋭角性)	-0.24	-0.22	-0.14
乳房の懸垂	0.00	-0.05	-0.23
乳房の深さ	0.24	0.16	0.30

例えば、前述の通り、飼養形態を区別しない全体的な傾向として、 在群期間と乳量の遺伝相関はゼロまたはややマイナスですが、分析 結果によると放牧主体の環境においてのみ在群期間と乳量の遺伝 相関がプラスです。このことは、放牧環境において乳量が高い雌牛 ほど牛群に長くとどまる傾向があることを示します。

また、胸の幅に注目すると、放牧主体においてのみ胸の幅と在群 期間がプラスの遺伝的関係、つまり、胸の幅が広い個体の在群期間 が長い傾向にあることがわかります。タイストール、フリーストール と放牧主体の大きな違いのひとつに、主体とされる飼料の違いがあ げられます。このことより、濃厚飼料主体であるタイストール、フリー ストールと比較し、粗飼料主体である放牧主体の環境では、より消 化器の発達が求められることから、胸の幅がある雌牛が適している と推察できます。

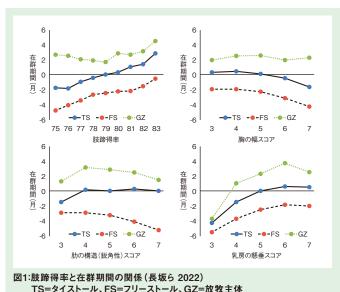


乳房の懸垂は乳量と関係があり、乳量が高いほど乳房が張ること から乳房間溝が浅くなり、結果として低めのスコアになります。逆 に、乳量が低いと乳房がそれほど張らないことから乳房間溝が深く なり、乳房の懸垂のスコアが高めになります。放牧主体の環境は、タ イストールやフリーストールと比較して乳量が低いことから、乳房の 懸垂に関する飼養形態間の差異は、乳量レベルに応じて最適なスコ アが違ってくることを反映した現象であると考えます。



2.適切な得率またはスコア

ここまでは各飼養形態において適切な改良方向について考えて きました。次に考えるべきことは、体型について適切な得率・線形ス コアを探ることです。前セクションにおいて飼養形態ごとに改良す べき方向が異なることが明らかになった胸の幅、乳房の懸垂の他 に、本セクションにおける適切な体型得率・スコアに関する調査結果 から飼養形態間で異なる傾向を示した肢蹄得率と肋の構造(鋭角 性)を加えた特徴的な傾向を示した4形質について、在群期間と体 型得率または線形スコアの関係を図1に示しました。



TS=タイストール、FS=フリーストール、GZ=放牧主体 ※在群期間は平均をゼロとして表示

肢蹄に注目すると、肢蹄得率が高いほど在群期間が長いことがわかります。ところが、タイストール・フリーストールにおいて得率が低いほど在群期間が短くなる一方、放牧主体では79以下の得率で一定です。分析前、我々は、放牧主体の環境において、雌牛が常に移動しながら採食することから、肢蹄の影響はフリーストールと同様に重要であろうと予想していました。ところが調査結果から、タイストールやフリーストールと比較し、放牧主体の環境は肢蹄への負担が小さく、肢蹄の得率が比較的低くても淘汰に至らないことが多いことがわかりました。その原因について、放牧環境はやわらかい牧草地を移動すること、足元に糞尿が少なく、清潔な環境が多いことがあげられます。いずれにしても、肢蹄の得率が高いほど好ましいことは各飼養形態共通ですが、放牧環境において、フリーストールやタイストールほど肢蹄に対して神経質になる必要はなさそうです。

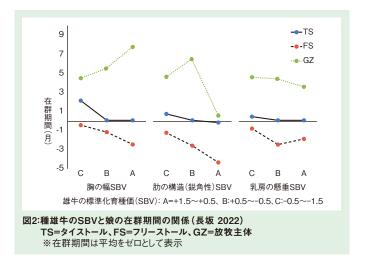
胸の幅に注目すると、タイストールとフリーストールではスコアが 高いほど在群期間が短くなりますが、放牧主体で低下傾向は認めら れません。

また、放牧主体において、肋の構造(鋭角性)で4、つまりタイストールやフリーストールと比較して低めのスコアが望ましいこと、乳房の懸垂で6が最大であり、7で低下する傾向があります。乳房の懸垂スコアが3である場合、飼養形態に関わらず在群期間が大きく低下することがわかります。



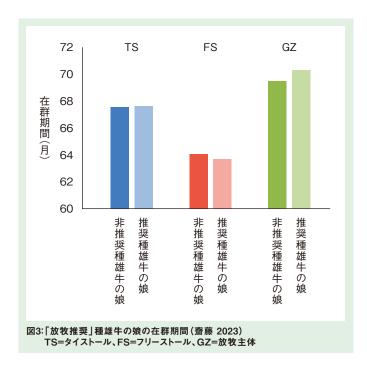
3.適切な線形スコアへと改良できる種雄牛

放牧主体の環境において、在群期間が長い雌牛へと改良できる種雄牛の体型標準化育種価(SBV)について調査しました(図2)。放牧主体のデータについて、胸の幅が-0.5以上、肋の構造(鋭角性)が+0.5未満、乳房の懸垂が+0.5未満であるとき、種雄牛の娘のスコアが適切な範囲になる可能性が高くなります。



4.「放牧推奨」アイコンの開発と検証

以上の分析より、すべての飼養環境で改良すべき方向、スコアが等しい肢蹄や乳房の深さなどを除くと、放牧環境へ適応させるために特に注目すべき体型形質は、「胸の幅」、「肋の構造(鋭角性)」、「乳房の懸垂」です。また、遺伝的改良方向に関する調査より、放牧主体の環境において乳量の遺伝的改良が望ましいことがわかっています。そこで、「胸の幅」、「肋の構造(鋭角性)」、「乳房の懸垂」、「乳量」の4形質に条件付けすることにより、放牧推奨種雄牛を選別することとしました。



放牧環境への使用が推奨できる種雄牛の条件について、上記の種雄牛に関する調査結果に加え、NTP上位にランキングされる種雄牛のSBVの分布などを考慮して条件を調整し、胸の幅SBV -0.5以上+1.5未満、肋の構造(鋭角性)SBV +1.0未満、乳房の懸垂SBV +0.5未満、乳量EBV 0kg以上としました。検証において、タイストール、フリーストールにおいて在群期間の改善が認められない一方、放牧推奨種雄牛の娘牛が放牧主体の環境で0.8ヵ月程度在群期間が向上することを確認しました(図3)。

その後、実用化を見据えた検討を進めた結果、乳房の懸垂が極端に低い場合、乳器の疾病に対する懸念が増加すること、分析対象としたデータと比較し、現在の乳量が大きく増加していることから条件を若干見直し、現在の形(胸の幅SBV -0.5以上+1.5以下、肋の構造(鋭角性)SBV +1.0以下、乳房の懸垂SBV -1.5以上+0.5未満、乳量EBV+500kg以上)で利用されるに至りました。



以下の基準をすべてクリアするもの

胸の幅 肋の構造 乳房の懸垂 乳量

SBV -0.5~+1.5 SBV +1.0以下 SBV -1.5 ~+0.5

EBV +500kg以上



おわりに

遺伝的能力評価値が公表された当時、泌乳能力、体型形質など全体的に大幅な改善が望まれる時代でした。当時、乳量の高い雌牛ほど牛群に長くとどまる傾向があったことから、在群期間と乳量間の遺伝相関はプラスでした。その後、特に泌乳形質の遺伝的改良が進み、2000年以降、長命性と乳量間の遺伝相関がゼロまたはマイナスに転じました。この頃から、泌乳能力が一定水準を超え、泌乳形質以外の多くの形質に目を向けるべき時代になったと考えています。

これからは、泌乳能力に配慮しながらも繁殖能力など、国内全体で改良に取り組むべき形質に加え、各酪農家の飼養環境に合わせて改良すべき形質を選択すべきだと考えます。具体的には、NTPなどの総合指数の上位の中から、群管理であれば乳期中のエネルギー要求量の安定化が期待される泌乳持続性の高い種雄牛、西日本であれば暑熱ストレス耐性の高い種雄牛など、遺伝評価情報をうまく活用することで飼養環境に合わせた遺伝的改良が可能です。

「放牧推奨」アイコンもそのような選択肢のひとつとして活用される ことを期待します。

参考文献

- ○齋藤那津美. 2022.ホルスタイン種における放牧適性指標の 検討. 帯広畜産大学卒業論文.
- ONakahori Y, Yamaguchi S, Abe H, Nakagawa S, Baba T, Hagiya K. 2017. Relationship between herd life and housing type in Holsteins in Japan. Book of Abstracts of the 68th Annual Meeting of the European Association for Animal Production. 348. Tallinn
- ○長坂侑里.2022.飼養形態を考慮したホルスタイン種の体型の 改良方向に関する研究.帯広畜産大学修士論文.
- ○長坂侑里, 中堀祐香, 阿部隼人, 中川智史, 山口 諭, 馬場俊見, 川上純平, 山崎武志, 萩谷功一. 2022. 飼養形態を考慮した北海道のホルスタイン種の体型形質と在群 期間の関係.日本畜産学会報93(5), 5-13.

令和5年度(第44回)

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会 <u>修業試験合格者</u>

令和5年8月21日から9月6日の間実施した

「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

石川 博道	木嶋 享靖	•	清水 慶信	•	津田	洸樹	•	松井	恵利
内山 蓮	金城 健斗	•	城島明日香	•	遠國	大地	•	松島	菊朝
餌取 拓哉	工藤 玄馬		髙橋 健仁	•	中村	楽人	•	森口	巧
遠藤 悠人	藏元 大輔	•	髙橋 愛琴	•	樋口	久美	•	安田	楓花
緒方野々花	佐藤 喬俊	•	武隈 智典	•	藤本	真琳	•	吉田	樹来
河尻 幸浩	佐藤 龍征	•	地主 吉男	•	藤本	陸玖		渡辺	凌也
	•	3		•			•	(順不同]、敬称略)

デジェネティクス北海道 新人紹介 デ



道東事業所 業務課

かわい ようへい 洋平

- ●生年月日:1990年11月22日
- ●出身地:京都府京田辺市
- ●出身校:奈良大学
- ●趣味:野球観戦、観光

9月1日より中途入社にて道東事業所の業務課に配属されました。川合洋平と申します。前職は牛の首に装着する行動センサーの営業や顧客フォローなどをしておりました。もっと畜産の仕事について深く関わってみたいと思い転職し、今回ご縁があり入団いたしました。

現在は日々の業務で事業所のメンバーに迷惑かけっぱなしですが、早く業務を覚えて皆さまに入ってきてくれてよかったと思ってもらえるような人材になれるように努力いたします。

最後に私自身、北海道に住むのも初めてですので、これからの寒い季節は 心配事も多いですが、それ以上に観光やグルメなど行ってみたい場所も多く 楽しみにしております。おすすめの場所などございましたらぜひ教えていただ ければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



第18回 北海道総合畜産共進金

~肉用牛部門·乳用牛部門~

■肉用牛部門

共進会審査結果

賞	部門	名 号	父	出品者
		はるこ	茂晴花	浜中町/(株)さくらファーム
最高位	第10部 繁殖雌牛群	あさひ1	美津金幸	鶴居村/手塚 信幸 氏
		まりひら	勝平1	白糠町/平木 敏朗 氏
準最高位	第1部 未経産	かんな	英貞	中標津町/山崎 幸雄 氏
			'	
区分別最優秀賞	クラス	名 号	父	出品者
未経産	第1部 未経産	かんな	英貞	中標津町/山崎 幸雄 氏
経産	第6部 経産	はるこ	茂晴花	浜中町/(株)さくらファーム
		はるこ	茂晴花	浜中町/(株)さくらファーム
牛群	第10部 繁殖雌牛群	あさひ1	美津金幸	鶴居村/手塚 信幸 氏
		まりひら	勝平1	白糠町/平木 敏朗 氏
区分別優秀賞	クラス	名 号	父	出品者
未経産	第4部 未経産	ひでこ	英貞	池田町/清水 孝悦 氏

当団種雄牛産子 入賞牛



第1部 未経産

肉用牛部門 準最高位 未経産 最優秀賞 審査員特別賞 肢蹄賞

かんな号

- ■血統/英貞×幸紀雄
- ■生年月日/令和4年9月28日
- ■出品者/中標津町 山崎 幸雄 氏

生産者表彰

肉用牛部門において準最高位(未経産 最優秀賞)に輝いた 「かんな号(父:H黒-293 英貞)」を出品された山崎 幸雄氏に、 当団の褒章規定にもとづいて賞状および副賞を授与いたしまし た。感謝を込めてお祝い申し上げます。



口爾亞大地區(內用午0 位實受賞

第2部 未経産

審査員特別賞 後躯賞 ゆりかねさだ号

- ■血統/英貞×百合茂
- ■生年月日/令和4年7月2日
- ■出品者/弟子屈町 芝田 靖明 氏



第4部 未経産

未経産 優秀賞

ひでこ号

- ■血統/英貞×安福久
- ■生年月日/令和4年2月8日
- ■出品者/池田町 清水 孝悦 氏



第8部 父系群

1等賞 1席

さやひでこ号

■血統/英貞×北平安 ■生年月日/令和4年7月9日 ■出品者/更別村(有)美郷牧場

まさみ号

- ■血統/英貞×百合白清2 ■生年月日/令和4年6月27日
- ■出品者/浦幌町(株)ハンドインハンド

しほ7388号

- ■血統/英貞×梅栄福 ■生年月日/令和4年6月26日
- ■出品者/本別町(株)上田牧場

第8部 母系群





あさひで号

■血統/英貞×花国安福 ■生年月日/令和4年7月7日 あさひ号

- ■血統/花国安福×勝早桜5 ■生年月日/令和元年6月5日
- ■出品者/今金町 佐藤 弘一 氏





4年に一度の北海道総合畜産共進会が開催されました。肉用牛部門は9月2日(土)に音更町の十勝農業協同組合連合会共進会場、 乳用牛部門は9月23日(土)・24日(日)に安平町の北海道ホルスタイン共進会場で行われました。

肉用牛部門の審査委員長は岸大輔氏、審査委員は工藤太介氏と大井幹記氏。10部門に合計149頭が出品されました。

乳用牛部門はオフィシャル・ジャッジをパット・コンロイ氏、アソシエート・ジャッジを田井道広氏が務められました。出品頭数はホルスタイン 390頭、ジャージー36頭、ジュニアカップ17頭の計443頭です。

当団種雄牛産子も両部門において優秀な成績をおさめましたので、ご紹介いたします。

■乳用牛部門

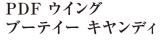
共進会審査結果

ホルスタイン種	クラス	名 号	父	出品者
グランドチャンピオン インターミディエイトチャンピオン	第13部 シニア3歳クラス	ヨシノフアーム ドア リンリン	ドアマン	北見市/吉野 英之 氏
リザーブグランドチャンピオン シニアチャンピオン	第14部 4歳クラス	ヨシノフアーム シヤリオ	デンバー	北見市/吉野 英之 氏
リザーブシニアチャンピオン	第14部 4歳クラス	SJフアーム サイドキツク エクラミネ	サイドキツク	音更町/小原 潤哉 氏
リザーブインターミディエイトチャンピオン	第10部 シニア2歳クラス	ラツキー セレクト ローラ	セレクト	湧別町/竹内 皓大 氏
ジュニアチャンピオン	第4部 未経産ジュニアミドルクラス	SJフアーム マラソン ヴエル Sキツク	サイドキツク	音更町/小原 潤哉 氏
リザーブジュニアチャンピオン	第4部 未経産ジュニアミドルクラス	MW ウエツジ リラ チーフ プリリン	チーフ	豊浦町/渡部 将聡 氏

ジャージー種	クラス	名 号	父	出品者
シニアチャンピオン	第20部 3歳以上クラス	SF ドレーパー チエリー	ドレーパー	広尾町/㈱エスティリアテイリーサーヒス
リザーブシニアチャンピオン	第19部 3歳未満クラス	オールダーランド BJ ビクトリアス 662 ET	ビクトリアス	剣淵町/(株)オールダーランド
ジュニアチャンピオン	第17部 未経産ジュニアクラス	ローヤルランド メタリカ ロビン	メタリカ	大樹町/木村 達也 氏
リザーブジュニアチャンピオン	第17部 未経産ジュニアクラス	グリークエスト MMC ハイ スワツカー	ミスター スワツガー	弟子屈町/坪井 新奈 氏

当団種雄牛娘牛 1等入賞牛

第1部



- ■父/JP3H58010 ブーテイー
- ■出品者/苫前町

(株)箱柳牧場



|サイアカーフクラス

TMF サンデイ ND キヤビン リイサ アーヴィット

- ■父/60601 キヤビン
- ■出品者/清水町

(有)田中牧場



第8部

サイア2歳クラス

BU

グランデール ラステイ パーリス

- ■父/JP3H57091 パーリス
- ■出品者/幌延町

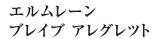
加賀山 英治 氏



第8部

サイア2歳クラス

2nd BU



- ■父/JP3H58010 ブーテイ
- ■出品者/恵庭市

(有)福屋牧場



第11部

サイア3歳クラス

2nd BU,BP

エルムレーン ブレツシング アレグレツト

- ■父/JP3H58010 ブーティー
- ■出品者/恵庭市

(有)福屋牧場





第11部

デイベロツプ スカイバツク ヒラリー 9709

- ■父/JP3H58428 スカイバツク
- ■出品者/美瑛町

(株)稲川牧場



新しい時代、新しい世代の酪農を求めて

~剣淵町 株式会社オールダーランド~

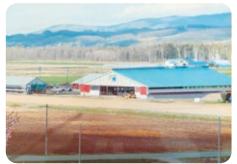
剣淵町

剣淵町は名寄盆地に属し、天塩川の支流剣淵川が流れ、農業に適した平地が多くある農業地帯です。夏期は比較的高温多照に恵まれ、冬期には雪も多く寒さが厳しい一面も持っています。また絵本の里でも有名であり、道の駅の名前にも使用されているほどです。

そんな剣淵町にジャージー牛乳を使用し、A2A2のアイスクリーム販売や共進会に参加している株式会社オールダーランドの石田守さんと久子さん(ともに代表取締役)に取材を行いました。



オールダーランドの軌跡



提供:(株)オールダーランド

守さんは1972年に名寄農業高等学校を卒業後、上川生産連旭川家畜人工授精所に入所しました。1974年にカナダのグレンアイルス牧場にて1年間、翌年はカナダのブライドンファームにて実習を行いました。日々の作業の中で感じたことや学んだことが今もしっかりと活かされているそうです。1976年に帰国し、1983年に独立、1995年に久子さんとご結婚後、お二人で協力しながら牧場を経営されてきました。ご結婚当時は十数頭の中での経営でしたが、少しずつ牛を増やしていき、法人化直前に搾乳牛が80頭まで増えました。その後、2013年に法人化に向けて新牛舎とパーラーを新設し、2014年3月16日に晴れて法人化、現在の株式会社オールダーランドが設立されました。

オールダーランドのいま

現在の飼養頭数は搾乳牛110頭、未経産牛135頭、乾乳牛13頭の計258頭で、搾乳牛110頭の内64頭がジャージー、46頭がホルスタインです。牛群平均年間9,500㎏搾っており、脂肪率4.76%、蛋白率3.64%、無脂固形分率9.12%であり、冬期間はバルク乳で脂肪率が5.0%超えるとのことです。

現在は守さん、久子さんと従業員3名で牧場を切り盛りされています。コンポストバーンの牛舎はジャージーとホルスタインで牛床を分けて飼養しており、搾乳は6頭ダブル・ヘリンボーンのパーラーで行っています。搾乳牛は先にジャージー、その後ホルスタインと搾っているそうです。

ジャージー飼養のきっかけは、牛の受精卵の輸入が1993年に解禁となり、1994年に日本で最初のジャージー輸入受精卵を導入したことから始まります。その際、個人輸入で守さん自らカナダで受精卵等の手続きをし、トロントから発送後成田空港の動物検疫所で輸入手続きを行ったそうです。その後、1995年に守さんの牧場で第1号が生まれました。そこから受精卵の導入や人工授精により現在の頭数まで増やしていきました。

また、当団で行っている優良遺伝資源造成事業にもご協力いただき、種雄牛造成にもお力添えをいただいています。最近では JP3H58111ドラゴンボールを輩出しており、遺伝改良にも力を入れている牧場です。

さらに、黒毛和牛の飼育も20年ほど前から行っています。同町で開業されているタケシタ家畜繁殖診療所の竹下先生ご協力のもと、採卵などを行っています。特に黒毛和牛は全頭未経産の採卵を継続的に行っており、経済性、そして優良な遺伝子を早く広く残せるよう取り組んでいます。また、黒毛和牛の一般農家でゲノム検査を実施したのは守さんが日本で最初だと話されておりました。より早くゲノム検査を行い、選抜をすることでより良いものを生産することを心がけています。現在メインでご使用いただいている凍結精液は当団種雄牛のH黒-313 北美津久だそうです。

アイスクリームの販売

株式会社オールダーランドでは、2020年5月よりアイスクリームを販売しています。現在飼養されているジャージーは100%、



A2A2の牛乳を生産していることから、商品に活かすべくアイスクリームの販売に取り組み始めました。A2A2®、A22®アイスクリームは全頭ゲノム検査済みのA2A2ミルクのジャージー牛乳のみを使用しており、製造は東神楽町の有限会社アイス工房田村ファームさんに委託しているそうです。現在はバニラとストロベリーの2種類を「道の駅絵本の里けんぶち」、「セイコーマートけんぶち店」で販売しています。剣淵町民だけではなく町外のお客様にも愛される人気の一品です。

取材時に2種類いただきましたが、バニラは高濃度牛乳の味にバニラビーンズの 風味もしっかりあり、ストロベリーはすっきりとした味わいの中にも牛乳の味があり、 どちらも食べていて飽きのこない味でした。現在はソフトクリーム販売に向けて開発 中とのことで、販売するのが待ち遠しい限りです。剣淵町にお越しの際は立ち寄って みてはいかがでしょうか?



提供:道の駅 絵本の里けんぶち

共進会の歴史

守さんは就農後、共進会にも参加しています。

2000年に行われた第3回全日本ジャージー共進会 岡山大会の予選会として北海道ホルスタインナショナルショウが行われました。守さんはその予選会にジャージーを出品し、見事全共への切符を手にしました。その5年後に行われた2005年北海道ホルスタインナショナルショウでは、ジャージー種のジュニア・シニアともにチャンピオンを獲得し、第4回全日本ジャージー共進会 栃木大会にも出品されました。同大会では未経産の部(18ヶ月以上24ヶ月未満)で見事1等2席を獲得、経産牛も入賞しました。リードマンは久子さんが務められたそうです。

直近では、今年開催された第18回北海道総合家畜共進会 乳用牛部門にて、オールダーランド BJ ビクトリアス 662 ETが第19部(3歳未満クラス)1等1席 およびジャージー種リザーブシニアチャンピオンを獲得。過去から現在にわたって素晴らしい成績を残されています。

また、守さんと士別市の多田牧場、和寒町の鷲見牧場でKLINE COMPANYというシンジケートを組み、その牛達も同大会に出品されました。地域に根付き近隣の酪農家の方と切磋琢磨しながら、お互いの改良意欲を駆り立てています。

長年にわたり全道・上川管内各共進会において、リードマンコンテストに「オールダーランド賞」として賞品の提供も行っており、酪農青少年の育成にも 貢献されています。



オールダーランド BJ ビクトリアス 662 ET 提供:(株)オールダーランド

将来の展望

今後の目標は、少なくとも5年以内にジャージー、ホルスタインの年間牛群平均乳量を1万kg以上にすること。昨今、飼料効率や中型サイズの改良が注目されている中で、そのような牛造りや牛群のレベルを上げていきたいとも考えておられ、そのために課題を見つけ改善することで目標を達成できるよう努力したいとおっしゃっていました。厳しい酪農情勢が続いていますが、アイスやソフトクリームの6次産業を通じて剣淵町の活性化にもつなげていきたいそうです。一方で、経営を続けるにも体力的に厳しくなってきたため、新規就農者の受け入れや株式の譲渡を検討しておられます。

最後に



守さん、久子さんの取材を通して、お二人の酪農に対する想いや暖かさに触れ、酪 農という仕事の見方が変わったように感じました。当団としても、改良の面においてお 手伝いができるよう頑張ってまいります。

ご多忙の中、快く取材にご協力いただきました、石田守様、久子様をはじめ、株式会社オールダーランドの皆さまに深く感謝申し上げます。私にとっても心に残る取材となり、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(道北事業所 大森 健朗)

第20回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

令和5年10月14日、第20回当団黒毛和種枝肉共励会が(株)北海道畜産公社十勝工場にて盛大に開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大により自粛していた褒章授与式も第16回ぶりに行いました。

今回の出品頭数は、一般牛の部で51頭、後代検定牛の部で36頭、合計87頭でした。性別では去勢牛が58頭、雌牛が29頭となっています。 (公社)日本食肉格付協会北海道支所帯広事業所長の由良強審査委員長から頂いた審査員講評、及び当団からのコメントをご紹介いたします。

全体結果

本共励会の全体成績は、肉質等級4以上が98.9%、肉質等級5が79.3%という結果でした。また、脂肪交雑等級はすべて4等級以上で、一般牛の部(肉質等級5:78.4%)及び後代検定の部(肉質等級5:80.6%)ともに全国平均61.7%を大きく上回る肉質の良い枝肉でした。BMS No.については、一般牛の部でBMS No.12が23.5%、後代検定の部では8.3%でした。また、全体の平均BMS No.は9.4で全国平均8.4に比べて高い結果となりました。

名誉賞

審査員講評:出品番号16番、一般牛の部に出品されました、株式会社オホーツク網走26様(JAオホーツク網走)で、枝肉重量の大きさに対してロース芯面積が大きく、バラが12.2cmと特に厚く充実し、バラ腹鋸筋が5.0cmと厚く、皮下脂肪の厚さは若干厚いものの、枝肉表面の脂肪付着状態は適度で、歩留基準値が高く、枝肉の外観は各部が厚く幅があり、長さも適度で、枝肉の体表面に無駄な脂肪付着がなく、体型の良い肉量に富んだ枝肉でした。

ロース切開面は、筋間脂肪及びロース芯を取り巻く脂肪が少なく、ロース芯脂肪粒の形状は、太いサシがなく均一な粒状で、BMS No.12の中で最も強く感じられ、ロース芯以外の周囲筋にも脂肪交雑が満遍なく十分に入っており、肉色は浅めで光沢が良く、肉の締まりも特に良く、また、内面脂肪の付着状態十分で内モモやサーロイン部の脂肪交雑が良好で見栄えのする高品質な枝肉であり、外観及び肉質ともにバランスの取れた名誉賞にふさわしい枝肉でした。

当団より:「勝早桜5」産子は、24頭(去勢18頭、雌6頭)と最も多くの出品をいただき、その平均成績は枝肉重量519.7kg、ロース芯面積72.6cm、 BMS No.10.0、肉質等級4・5率100%と素晴らしい成績を残し、そのほか最優秀賞、優秀賞、優良賞も受賞しております。

○一般牛の部

審査員講評:最優秀賞には出品番号13番、田中清隆様(JAサロマ)で、ロース芯面積が大きく、バラも厚く充実し、歩留基準値を下げる皮下脂肪の厚さは適度であり、枝肉表面の脂肪付着が適度で枝肉全体の幅は広く、背側から見て厚みのある枝肉でした。ロース切開面においても、ロース芯を取巻く筋間脂肪は厚すぎず適度で、僧帽筋は5.4cmと特に厚く、他周囲筋の状態も良く発達しており、肉量に富んだ枝肉でした。

名誉賞同様にロース芯の脂肪交雑粒の形状は細かく、ロース周囲筋の脂肪交雑状態も良好で名誉賞よりも僧帽筋及びバラ腹鋸筋が厚く充実した状態でした。しかし、名誉賞と比較してロース芯面積が小さく、バラ腹鋸筋は充実していたが、バラ全体の厚さは薄く、BMS No.12ではありましたがやや迫力に欠け、僅かな差で最優秀賞となりました。

○後代検定牛の部

審査員講評:最優秀は出品番号78番、有限会社エー・イー・シー様(JAとまこまい広域)で、ロース芯面積が104㎡で歩留基準値は80.6と、今回出品された中で最大のロース芯面積でした。枝肉全体の脂肪付着状態は適度で、モモが大きく充実しており、枝肉全体の厚みが特に良く、外観は非常に迫力のある枝肉でした。

ロース切開面の筋間脂肪及びロース芯を取巻く脂肪が少なく、バラも厚く良く充実して、更にバラ腹鋸筋は4.3cmと厚く、肉量に富んだ枝肉でした。肉質はBMS No.12であり、切開面全体の脂肪交雑状態は良好であり、肉の色沢が特に良く、脂肪の色は白く、脂肪質は光沢が良く艶やかで適度な粘りがあり、特に良質な枝肉でした。

当団より: 今回はH黒-333「北小雪」、H黒-337「奈美桜」、H黒-332「北百合福」、H黒-339「北福姫」、H黒-340「隆之姫」、H黒-345「咲早桜5」 産子が出品されました。

このうち、最優秀賞を受賞した「北福姫」は、「福之姫」の息牛で、母「ゆりまり」は北海道育種価の脂肪交雑で高い評価を受けた高育種価雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量466kg、BMS No.8.2、肉質等級4・5率100%を記録し、令和6年3月に検定を終了する予定です。

次に優秀賞、優良賞を受賞した「奈美桜」は「勝早桜5」の息牛で、母「かおり」は平成27年6月から3期にわたり北海道育種価脂肪交雑順1位にランクされた高育種価雌牛「ななみ」の娘です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量508kg、BMS No.9.6、肉質等級4・5率96.6%を記録し、令和6年1月に検定を終了する予定です。

また、惜しくも入賞を逃したH黒-333「北小雪」、H黒-332「北百合福」、H 黒-340「隆之姫」、H黒-345「咲早桜5」についても紹介させていただきます。

まず4頭(去勢1頭、雌3頭)の出品をいただいた「北小雪」は「北平安」の息牛で、母「あいこ2」は「第1やまさかえ」系統の雌牛であり、3代高等登録牛です。北海道育種価脂肪交雑順では59位にランクされ、BMS No.12を3頭輩出した高育種価雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は平均で枝肉重量475kg、BMS No.9.1、肉質等級4・5率92.9%を記録し、すべての検定牛の格付が終了しております。

次に、5頭(去勢4頭、雌1頭)の出品をいただいた「北百合福」は「北乃大福」の息牛で、母「ゆりこ」は2産目の去勢牛(父:安福久)でA-5、枝肉重量509kg、BMS No.12を記録し、第28回JA全農ミートフーズ和牛フェアにて最優秀賞を受賞した高能力雌牛です。本共励会を終えた時点での成績は枝肉重量469kg、BMS No.8.1、肉質等級4・5率90%を記録し、令和6年3月に検定を終了する予定です。

「隆之姫(父:福之姫)」・「咲早桜5(父:勝早桜5)」についても本共励会を皮切りに続々と格付予定であり、今後の結果にご注目いただければと思います。

最後に、本共励会の開催にあたり、ご協力いただいた肥育農家の皆さまと関係団体の皆さまに心より感謝申し上げます。











第20回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞牛一覧

	褒賞	3	ζ	母の父	母方祖父	性別	出荷 月齢	等級	枝肉	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	市町村名/出品者名
		略号	名号	母の文	母刀扭又	נית בו	月齢	寸収	枝肉 重量(kg)	面積(cm)	(cm)	(cm)	基準値(%)	No.	11単1行石/ 四間有石
	名誉賞	H黒-187	勝早桜5	芳之国	安福久	去勢	30.6	A5	592	82	12.2	2.9	78.2	12	網走市/株式会社 オホーツク網走26
_	最優秀賞	H黒-187	勝早桜5	美国桜	安福久	去勢	30.3	A5	502	76	9.3	2.4	77.1	12	佐呂間町/田中 清隆
般牛	優秀賞	H黒-187	勝早桜5	勝忠平	安福久	雌	29.7	A5	528	75	9.0	3.4	75.4	12	白老町/吉田 隆三
十の部	優良賞	H黒-187	勝早桜5	安福久	忠富士	去勢	30.4	A5	528	86	8.7	1.2	78.7	12	帯広市/有限会社 トヨニシファーム
削	優良賞	H黒-277	勝美糸	福乃百合	安福久	去勢	26.3	A5	511	76	9.7	2.7	76.9	12	本別町/北海道立農業大学校
後	最優秀賞	H黒-339	北福姫	花国安福	安福久	去勢	28.4	A5	597	104	9.9	1.7	80.6	12	苫小牧市/有限会社 エー・イー・シー
後代検定牛	優秀賞	H黒-337	奈美桜	芳之国	安平	去勢	29.7	A5	496	57	9.0	1.2	75.6	12	幕別町/農事組合法人 ファーストブリングアップ蛯
	優良賞	H黒-337	奈美桜	菊福秀	福桜(宮崎)	雌	29.1	A5	413	62	7.0	1.0	76.0	12	白老町/有限会社 ブリーディング白老牧場
の部	優良賞	H黒-337	奈美桜	金幸	平茂勝	雌	30.2	A5	512	72	9.3	2.5	76.2	11	幕別町/二瓶 義則



他入賞牛の枝肉 写真はコチラ

令和5年10月14日 開催 ※敬称略

部門別枝肉成績表

【種雄牛別成績表】

性唯十別	▲性雄士 が以根衣 】												
名号	頭数	肉質等級 4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値(%)	BMS No.	肉質等級 4·5率			
輝百合	1	1	26.7	418	70	7.0	1.0	77.1	12.0	100.0			
勝美糸	3	3	27.2	515	73	8.7	2.7	75.8	11.7	100.0			
茂清福	1	1	29.4	505	61	8.9	1.9	75.3	11.0	100.0			
隆之姫	2	2	24.1	453	71	7.9	2.1	76.4	11.0	100.0			
奈美桜	12	12	29.7	479	66	8.5	2.2	75.7	10.1	100.0			
勝早桜5	24	24	29.3	520	73	9.0	2.4	76.2	10.0	100.0			
北白翔	1	1	27.8	508	63	7.7	2.3	74.3	10.0	100.0			
藤重栄	3	3	29.8	477	71	8.3	1.6	76.8	10.0	100.0			
咲早桜5	2	2	23.7	567	80	8.6	2.1	76.5	9.5	100.0			
勝俊久	2	2	26.9	470	56	7.6	1.8	74.3	9.5	100.0			
鈴音	3	3	28.3	535	68	8.2	1.9	75.3	9.3	100.0			
北小雪	4	4	29.4	449	71	7.7	1.9	76.5	8.8	100.0			
梅栄福	2	2	29.8	503	62	7.5	2.0	74.4	8.5	100.0			
北福姫	12	12	28.3	472	66	8.2	2.6	75.2	8.5	100.0			
北百合福	5	5	28.2	474	62	7.8	2.1	74.9	8.4	100.0			
第1花藤	4	4	29.1	548	68	8.9	1.7	75.7	8.3	100.0			
勝俊桜	1	1	26.5	540	69	8.1	3.2	74.1	8.0	100.0			
英貞	2	2	28.7	522	66	8.3	3.8	73.6	7.5	100.0			
夜桜	2	2	29.1	478	57	9.3	2.9	74.5	6.5	100.0			
亚莉	1	Λ	310	133	47	7.0	20	72.1	EΩ	0.0			

【一般牛の部】

1304 1 10										
名号	頭数	肉質等級 4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値(%)	BMS No.	肉質等級 4·5率
去勢	41	40	28.6	525	70	8.7	2.2	75.8	9.8	97.6
雌	10	10	29.9	468	66	8.3	2.8	75.1	8.7	100.0
全体	51	50	28.8	514	69	8.6	2.3	75.7	9.5	98.0

【後代検定牛の部】

名号	頭数	肉質等級 4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値(%)		肉質等級 4·5率
去勢	17	17	27.8	491	65	8.0	2.1	75.2	8.8	100.0
雌	19	19	29.1	456	67	8.3	2.4	75.8	9.5	100.0
全体	36	36	28.5	472	66	8.2	2.3	75.5	9.2	100.0

【全体】

	名号	頭数	肉質等級 4以上頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値(%)	BMS No.	肉質等級 4·5率
	去勢	58	57	28.4	515	69	8.5	2.1	75.6	9.5	98.3
ſ	雌	29	29	29.4	460	66	8.3	2.5	75.6	9.2	100.0
	全体	87	86	28.7	497	68	8.4	2.3	75.6	9.4	98.9

出血性腸症候群(HBS)

こ いわ まさてる

小岩 政照 默医学博士 ジェネティクス北海道アドバイザー

1975年 酪農学園大学獣医学科卒業後、

酪農学園大学獣医学科内科学教室助手

1980年 (旧)千歳農業共済組合 診療係長

1993年 (旧)石狩農業共済組合 江別診療所長、のち北部統括所長

1995年 酪農学園大学 附属家畜病院 助教授を経て、教授

2004年 酪農学園大学 獣医学部 教授(副病院長)

2011年 酪農学園大学 附属農場 農場次長を経て、農場長

2014年 酪農学園大学 フィールド教育研究センター

副センター長(2015年3月迄)

2018年 酪農学園大学 獣医学類退職、

キャトル リサーチ センター(CRC)を設立

1.はじめに

成牛の出血性腸炎は、給与飼料の腐敗やカビによる中毒、 サルモネラ症、ウシウイルス性下痢症ウイルス(BVDV)感染 が原因で発生する。また近年、急性の出血性腸炎の病態を呈 して急死する腸疾病である出血性腸症候群(Hemorrhagic bowel syndrome: HBS, Jejunal hemorrhage syndrome: JHS)の散発的な発生が報告されており、分娩後200日以下 の2産次以上の成乳牛での発生が高い。出血性腸症候群 (HBS)は、当初、JHSと呼ばれていたが、病変部位が空腸で あると明確に断定することが困難であることから、近年は HBSと呼ぶことが多い。

2.原因

本症の原因と要因は明らかになっていないが、腸管内に おけるクロストリジウムClostridium perfringens typeA(C. Perfringens)の異常増殖が関与していることが示唆されて おり、乳生産量の増加を目的にした可溶性炭水化物レベル の増加と繊維レベルの低下がC. Perfringens 増殖の大きな 要因になるとされている。また近年、腐敗した給与飼料など に多く含まれるAspergillus fumigatus(A. fumigatus)によ るマイコトキシンの関与も示唆されており、多要因疾病とさ れている。

3.症 状

突然の乳量激減、眼球陥没、貧血(写真1)、右下腹部の膨 満(写真2)と腸管拍水音、疝痛、血餅が混入したタール様血 便(写真3、写真4)、膨満したループ状小腸の触知が特徴で ある。症状は甚急性であり、36時間以内に85%以上が死亡 する。



写真1:眼結膜の貧血



写真2:右下腹部の膨満



写直3:タール様 血便





4.血液变化

血液検査では、白血球数増数と血漿フィブリノーゲン量の 増加、高血糖、BUN増加、低カルシウム血症、代謝性アルカ ローシスが認められる。

5.病理所見

病理解剖検査では、小腸における限局性の粘膜出血と血 液凝固物による腸閉塞(写真5)が確認され、腸閉塞の前後 における腸の重積と捻転が認められる例がある。

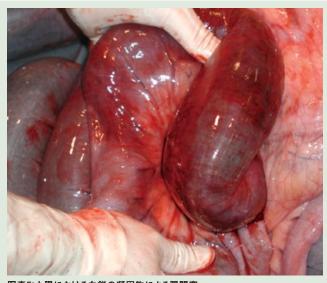


写真5:小腸における血餅の凝固物による腸閉塞

6.診 断

HBSは迅速な診断と治療が必要とされるが、臨床症状や 血液生化学所見が小腸イレウスと類似していることから、臨 床および臨床病理学的な所見と超音波画像による総合的な 判断が必要である。すなわち、突発的な疝痛を伴うタール血 様便、腹囲膨満、貧血の臨床症状とHt値低下と好中球の増 加に伴う白血球数の増加、高血糖、BUN増加、低カルシウム 血症、体液異常、代謝性アルカローシス(末期は代謝性アシ ドーシス)が認められた際には、本症を疑うべきである。

7.治療

HBSの治療は、経口投与と輸液、非ステロイド剤の投与 による内科療法、腸管切除術と小腸病変部のマッサージ圧 迫による血液凝固内容物の破壊による外科療法が行われ ており、治癒率は内科療法に比べて外科療法の方が高い とされている。最近では手術後の合併症に対する問題から 内科療法が推奨されているが、その治療法は確立されて いない。

(1) 輸液療法

輸液は生理食塩液とブドウ糖加酢酸リンゲル液に、ト ラネキサム製剤100mLとリン酸カルシウム剤250mLを 混合した点滴輸液。

(2)内服投与

HBSを疑う症例に遭遇した際には、迅速に早期から内 科療法を行う(写真6)。

木酢炭素末製剤(ネッカリッチ)300gと複合整腸剤 150g(ビオエンチ)、獣医用宮入菌末150g、第一胃機能 改善薬(ボビノン)90g、塩化カリウム100gを1日朝夕の 2回、セトラキサート塩酸塩製剤20gと経口グルコン酸カ ルシウム剤1Lを1日1回の経口投与を行う。



8.予防

予防としては、マイコトキシン対策と腸管細菌叢の改善を 目的としたサプリメント(ネッカリッチ、ゼオサポ)の飼料添加 が推奨される。

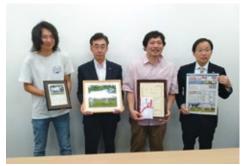
…ホルスタイン種 家畜改良顕彰

改良に顕著な貢献をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、この度の種雄牛評価成績2023-8月の総合指数(GNTP)上位 40位以内に新しくランキングされた1頭の国産種雄牛の生産者を顕彰いたしました。

GNTP第12位

JP3H58843 クリーク アチーバー プリズム ドア

湧別町 片岡牧場



左からNOSAI北海道 佐藤 渉主任, JAえんゆう 関口 哲治代表理事組合長、片岡 康太郎氏、当団近藤専務

片岡牧場の飼養形態はつなぎ牛舎で搾乳牛約70頭、家族3人で経営を行っています。 長命で養いやすい牛の飼養を目指し改良に取り組まれています。

今回選抜された「プリズム ドア」の曾祖母である「クリーク オーマン プラネツト ET」は当 団優良遺伝子源造成事業で誕生し、さかのぼると長命性に優れた体型と能力を兼ね備え る「ラルマ ジユラー フエイス |ファミリーに由来します。「オーマン プラネット |は高い体型 評価値と産乳能力を持ったエリートカウで、経産牛NTP上位1%にランキングする優れた 能力を持ち、娘の「モーグル タビサ」、孫の「ドアマン プラネツト」と3代連続経産牛NTP上 位1%にランキングする安定した成績を発揮しています。「プリズム ドア」は、母「ドアマン プラネット」の母系の安定した成績と高インデックスのドアマン娘牛という点に着目し、乳 成分改良に定評のある「アチーバー」を交配し誕生しました。

「プリズム ドア」はアチーバー×ドアマン×モーグル×プラネットと体型と能力のバラン

スに富んだ血統構成が特徴で、乳脂量全国第1位、乳脂肪率全国第2位、乳器全国第4位にランクしています。娘牛たちはサイズ中程度で背 腰が強く胸幅があり管理しやすい体型と乳用性に富んだ形状の良い乳器が特徴です。

今回の「プリズムドア」生産にあたって、「念願の目的が達成できた!!」と喜びのお言葉をいただきました。

今後も片岡牧場の益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

(十勝北見事業所 間木野 尚司)

黑毛和種 家畜改良顕彰

改良に顕著な貢献をした優秀黒毛和種種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、当団新規選抜牛1頭の生産者を顕彰いたしました。 (R5年7月公表 北海道産肉能力育種価成績において、後代検定が終了かつ供給可能な当団種雄牛のうち、上位5位以内に新たにランキン グされた牛、および新規選抜牛を顕彰するものです。)

北海道育種価8位&新規選抜

H黒-327 勝俊桜

新ひだか町三石 畑端牧場



左から JAみついし 米田 和矢理事参事、ご子息 畑端 俊樹氏、 当団近藤専務、写真提供:JAみついし

畑端牧場が平成15年に青森市場から導入した「やりはなみ(父:第1花国)」が「勝俊 桜」の生産起源となります。「勝俊桜」の曾祖母「やりはなみ」は短足で小柄な牛でしたが、 祖母「ゆりこ(父:百合茂)」は大柄な牛で、母「きい(父:北乃大福)」も体積、資質に富んだ 体型をしており、当牧場において改良成果を実感した系統の一つとなっています。

また体型改良能力と合わせて高い産肉能力を持つ系統でもあり、祖母「ゆりこ」は北海 道育種価脂肪交雑順で100位(平成28年6月評価)にランクインし、7産目の去勢牛(父: 北乃大福)は第45回「名人会」肉用牛枝肉研究会で最優秀賞を受賞。母「きい」も3産目の 雌肥育(父:勝早桜5)でA-5、枝肉重量519kg、ロース芯面積83㎡、BMS No.12を記録し ています。

この母に当団代表種雄牛である「勝早桜5」を交配して産まれた気高系種雄牛が「勝俊 桜」です。

「勝俊桜」は現場後代検定において、肉質等級4・5率100%、BMS No.平均10.2を記録しました。また、令和5年7月北海道育種価では、脂 肪交雑8位にランクし、育種価指標はHHHBHH、特にロース芯面積6位、バラの厚さ2位、歩留基準値4位と高い評価を受けています。

「『勝俊桜』は誕生当初から発育、体稿、骨じまりが良く、2カ月齢を過ぎる頃から乗駕行動を見せ種雄牛としての才能を感じていました。」 とおっしゃる畑端さんから「現在、当牧場で肥育中の『勝俊桜』産子に期待すると同時に、雌牛は繁殖牛として残し、さらに後継種雄牛の造成 を目指し改良に取組みたい。」とコメントをいただいております。

今後の畑端牧場様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(道央広域事業所 氏平 健太郎)





@genetics.hokkaid

@gh_assoc

▶ ジェネティクス北海道

TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113 TEL(011)375-4422

広域 TEL(011)375-4395(都府県 担当連絡先) TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839 FAX(0156)62-2150 TEL(0156)62-2158 肉午改良課 TEL(011)242-9647 ●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330